

# 石仏 すとん・さーくる

No.85

発行 新潟県石仏の会(代表 星野 紀子)

事務局 〒945-0837 柏崎市三島町16-2 渡邊三四一 電話0257-22-1941

ホームページ <http://niigata-sekibutu.voxx.jp>

2013年9月15日 発行

石 仏 散 歩

## 悲しい兄妹の逸話を

### 秘めた双体神

長岡市 深 滝 純 一

長岡市の柄尾地域に入塩川（いりしおがわ）という集落がある。柄尾地域で守門岳の山開きの前夜祭が行われる地域は入塩川区と巣守（すもり）大明神をお祀りする柄堀区の巣守神社の二つだけである。入塩川からの登山者にとつて道中で越える雨晴（あばらせ）のブナ林が圧巻であり、ブナ林の見事さを東洋一と讃える人も多い。

その入塩川の村に古びた双体神がある。この双体神には次のような悲しい話が伝えられている。

昔。村に美しい兄と妹が住んでいた。兄妹はそれぞれが自分にふさわしい結婚相手を探すべく兄妹は別々に旅に出た。野を越え、山を越え、波音を聞きながらほうぼうを探し巡ったがそれぞれが自分にふさわしいと思える相手には巡り会えなかつた。やむなく故郷へ戻ることを決意した兄は、ある晩「あつ！ この女性だ」と想う女性に

出会い、また妹も「あつ！ このお方こそ……」と想う男性に巡り会う。そして、二人は結ばれた。翌朝、目覚めた二人は互いの顔を見合つて愕然とした。それは数年前に別れた妹であり、兄であったのだ。二人は人の世の因縁に愕然とし、やがて、故郷の入塩川を流れる川に身を投げて果てた。それを知った村びとは若い兄妹を哀れみ、石造りの双体神を建てて供養した。この双体神に願掛けをすると男女間の物事はすべて成就するといわれたが、今では訪れる人もない。



## 五泉市善願集落の「虫送り」探訪に参加して

長岡市 荒井 昭

五泉市善願集落に石仏を背負つて集落内を虫送りする珍しい祭りがある。当会二〇周年記念の「石仏の力」展に伴う祭り探訪の計画を知り、参加させて頂いた。以下、私なりの祭事見聞の概要である。

「虫送り」の虫は恙虫を指す。県内の阿賀野川・信濃川・魚野川で夏場に発生、罹病すると高熱を発し、三割余の人が亡くなつた恐ろしい風土病であつた。

被を着用、祭り気分も盛り上がる。

修驗衣装姿の山伏が法螺貝を吹き鳴らし祭り開始である。祭壇前で祈祷の後、男性（年男か）が白帯で地蔵を背負う。大太鼓が担がれ、社前に準備されていた青竹を担いだ集落の人々と続き、毒虫送りに集落内一周へと出発する。

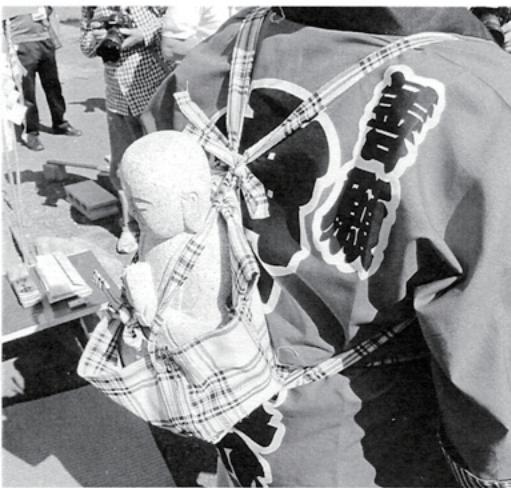
私は脚痛で同行せず、山伏や住職、地元の人としばらく雑談、帰りを待つ。

善願の毒虫送り発祥についての記録はなく、口伝では四〇〇年余り前からといわれる。阿賀地域の虫鎮めは山伏が多く招かれる。毒虫は佐渡へ送る。何故佐渡

大河の流域で農業を生活基盤とした人びとは、身を守るために神仏に加護を祈つた。善願集落の祭日は六月第三日曜日。会場の諏訪神社境内広場の祭壇にお堂から移された二体の地蔵と、灯明のほか供物が供えられる。祭壇の前方には祭りの締めくくりとなる「火祭り」行事の薪や杉の枝などが積まれ火入れ式を待つ。



会話三〇分。山伏が火渡りの準備に入れる。祭壇前で護摩を焚き祈祷、積まれた薪・杉の皮に火を入れる。白煙と炎をあげ燃えさかるなか、山伏は呪文を唱え祈祷を続ける。途中、山伏の息子（後継者）も参加する。火炎が治まると大量の塩を撒いて祭場を清め、火渡りの準備は完了。



なのか不明。二体の地蔵は小さい方が新調の像、先日二体の魂入れ・魂抜きの法要をした。古い像は県立歴史博物館に寄贈が決つたなど…。



やがて集落一周を終えた人々が境内に帰る。火渡りは素足を清めた山伏が最初。ついで祈祷文言統くなか、「無病息災・家内安全」を祈り、祭典関係者・参加者がそれぞれ火渡りを済ませて終わる。

先祖の残した民俗遺産。いまはカメラマンが押しかける珍しい伝統行事と注目されるが、本来は集落民の生活に関わった「虫鎮め」の厳粛な祭事であつたことを思いながら、善願集落をあとにした。



フランスとイギリス間の海峡ドーバーに近いノルマンディ地方に浮かぶ世界遺産モン・サルミツツエル島は、あまたある世界遺産の中でも、ペルーのマチュピチュと並んで人気ナンバーワンである。海上に浮かぶ島は潮が引くと歩いて行かれる。海上のピラミッドとも三角形の宝石とも称されている美しい岩峰である。島全体が由緒ある教会であり、戦争時は堅固な要塞となる。かの英仏百年戦争でも、イギリスはとうとう陥落させることができなかつたことで知られている。

巨大な石造物教会の頂上近い床面の數石に複数の算用数字が刻されている。実はこの数字は工事に携わった石工職人の固有ナンバーなのだという。

彼が何枚施行したかによつて給料が計算される。



彩色道祖神（穂高）



有明山神社

## 世界最古の石彫給料明細書

小千谷市 広井忠男

フランスとイギリス間の海峡ドーバーに近いノルマンディ地方に浮かぶ世界遺産モン・サルミツツエル島は、あまたある世界遺産の中でも、ペルーのマチュピチュと並んで人気ナンバーワンである。海上に浮かぶ島は潮が引くと歩いて行かれる。海上のピラミッドとも三角形の宝石とも称されている美しい岩峰である。

島全体が由緒ある教会であり、戦争時は堅固な要塞となる。かの英仏百年戦争でも、イギリスはとうとう陥落させること

ができなかつたことで知られている。

安曇野市豊科郷土博物館で開催中の「道祖神」展と有明山神社・穂高神社周辺の石仏・彩色道祖神などを見学します。昼食は穂高名物の手打ちそば定食。

日 時 10月8日(火) 7時～18時  
 集 合 長岡駅東口・コンビニ前(7時)  
 (上越の方には別途集合場所を指示します)  
 参加費 6500円(バス・昼食代含む)  
 定 員 25名(貸切小型バス乗車)  
 申込み 9月30日までに事務局・渡邊まで。ハガキかFAXで。

### 有志見学会・安曇野道祖神紀行のご案内

世界最古の石彫給料明細書なのだと。これなら失くなる心配もない。

モン・サンミツシエル教会は巡礼の大聖地であった。疲れきった彼らのために、ふわふわに焼かれた胃に優しい大きなオムレツが今も名物となっている。

## 事務局だより

| ◇中越地区見学会のお知らせ |  |
|---------------|--|
| 日 時           | 10月21日(月) 10時～15時                      |
| 見学地           | 長岡市柄尾地区(小貫瑞雲寺・秋葉神社・下来伝ほだれ神社・上権出音子神社など) |
| 集合            | ①長岡駅東口(9時30分)<br>②柄尾市民会館(10時)          |
| 参加費           | 2000円(昼食代含む)                           |
| 定員            | 20名(自家用車に分乗)                           |
| 申込み           | 10月10日までに深滝純一まで。<br>TEL 0258-53-6188   |
| 長岡市柄尾新町3-8    |  |

## ◇下越地区見学会のご案内

| 日 時 | 11月7日(木) 9時半～17時                              |
|-----|---|
| 集合  | 新津駅(9時30分)                                    |
| テーマ | (くびき野1号 新津駅9時2分着)                             |
| コース | 阿賀町の鍾馗様と石仏巡り<br>①熊渡→②大牧→昼食→③武須                |
| 参加費 | 2000円(昼食代含む)                                  |
| 宿泊員 | 15名(自家用車3台分乗)<br>宿泊希望者には宿パンフレットを送付しますので、各自申込み |

| 申込み                  | 下さい。   |
|----------------------|--|
| 10月25日までに岩野笙子まで。     |  |
| TEL 959-2034         |  |
| 阿賀野市緑町22-8           |  |
| TEL・FAX 0250-62-0070 |  |
| 【創立20周年祝賀会】          |  |
| 期 日                  | 平成25年11月17日(日)                                 |
| 会 場                  | 長岡グランドホテル4F「蒼柴」<br>JR長岡駅大手口から徒歩3分<br>(アオーレ長岡裏) |
| 時 間                  | 16時30分開宴(受付は15時40分頃)閉宴19時                      |

なお、当時は関連事業として、新潟県立歴史博物館を会場に「石仏フォーラム」を兼ねて次の企画も行っています。

【企画展「石仏の力」見学】

時間 11時～12時  
会場 企画展示室 ○ロビーで会員の「私の一押し石仏」を展示予定

| 講師      | 野本寛一氏(近畿大学名誉教授)       |
|---------|-----------------------|
| 演題      | 「石と日本人—底流する心意伝統をさぐる—」 |
| 時間      | 13時30分～15時            |
| 会場      | 同館講堂(B1F)             |
| 【記念講演会】 |                       |

◇新しい「入会案内」を作成しました

20周年を機に新「入会案内」のチラシを作成しました。まずは県立歴史博物館の「石仏の力」展会場内に置き、新会員を募りたいと考えています。



## 編集後記

いよいよ県立歴史博物館の秋季企画展「石仏の力」展の開催が迫ってまいりました。会員の力でこの催しが大成功するよう頑張っていきましょう。(深滝)

|                     |          |
|---------------------|----------|
| 入会申込書(新潟県石仏の会入会申込書) | 平成 年 月 日 |
| お名前                 | 電話 ( )   |
| 性別                  | 性別       |
| ご住所                 |          |
| ご年齢                 |          |
| ご職業                 |          |
| ご趣味                 |          |
| ご希望                 |          |
| ご質問                 |          |
| ご意見                 |          |

新潟県石仏の会  
TEL/FAX 0257-22-1941  
ホームページ http://nagaoka-shiseisyoukai.miraheze.org/HP/kaishi/kaishi.htm

新潟県石仏の会  
TEL/FAX 0257-22-1941  
ホームページ http://nagaoka-shiseisyoukai.miraheze.org/HP/kaishi/kaishi.htm